

社会資本総合整備計画 事後評価書（案）

令和7年1月

計画の名称	市内渋滞箇所減少のための道路整備		
計画の期間	令和元年度～令和5年度（5年間）	交付対象	裾野市
計画の目標	市北部地域に集中する企業への通勤車両が生み出す市内全域の渋滞を減少させ快適な道路環境を目指す。		

計画の成果目標（定量的指標）	市南部から北部に向かう主要5ルートの通勤時間帯（7:00から9:00、16:30から18:30の間を30分ごとに走行）の平均旅行速度20km/h以下の割合を33%（R1当初）から20%（R5末）に減少させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (R1当初)	中間目標値	最終目標値 (R5末)							
実地走行調査により市南部から北部に向かう主要5ルートを7:00から9:00、北部から南部へ向かう同ルートを16:30から18:30（20km/h以下の割合）＝（現地走行調査による平均速度時間20km/h以下の時間帯数）/（全調査時間帯数）	33%		20%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,991百万円	A	2,991百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
裾野市事業評価監視委員会設置要綱（平成27年裾野市告示第16号）に基づき、学識経験者を含めた評価委員会を開催。	令和5年度（整備計画最終年度の翌年度）
	公表の方法
	裾野市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											R1	R2	R3	R4	R5		
132-A01-001	道路	一般	裾野市	直接		市町村道	改築	市道2-18号線（第1工区）	バイパスL=0.8km	裾野市						931	
132-A01-002	道路	一般	裾野市	直接		市町村道	改築	市道2-18号線（第2工区）	バイパスL=0.74km	裾野市						0	未着手
132-A01-003	街路	一般	裾野市	直接		S街路	改築	(都)平松深良線（公文名工区）	バイパスL=0.3km	裾野市						206	
132-A01-004	街路	一般	裾野市	直接		S街路	改築	(都)平松深良線（滝頭工区）	バイパスL=0.2km	裾野市						282	
132-A01-005	街路	一般	裾野市	直接		S街路	改築	(都)平松深良線（稲荷工区）	バイパスL=0.25km	裾野市						582	
小計（道路事業）																2,001	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										R1	R2	R3	R4	R5			
合計																0	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										R1	R2	R3	R4	R5			
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況			
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 朝 5ルートそれぞれのそれぞれにおいて、旅行速度が向上した。 夕 5ルートのうち3ルート（ルート3 裾野IC入口交差点⇒桜堤交差点、ルート4 下和田交差点⇒裾野市南側市境、ルート5 下和田交差点⇒岩波駅前）で旅行速度が向上した。 大きな改善箇所は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ルート1 南一色交差点⇒下和田交差点（朝 旅行時間 11分50秒短縮、旅行速度 10.8km/h向上） ルート5 岩波駅前⇒下和田交差点（朝 旅行時間 4分4秒短縮、旅行速度 8.7km/h向上） 		
II 定量的指標の達成状況	指標①市南部から北部に向かう主要な5ルートの通勤時間帯の平均旅行速度20km/h以下の割合	最終目標値 20%	目標値と実績値に 差が出た要因 <ul style="list-style-type: none"> 朝の旅行速度は全体的に向上したが、夕方の一部ルートで旅行速度が低下した。 向上したルートは国道246号及び裾野IC入口～下和田間の向上が大きく、調査対象地域の企業の車利用の通勤者数や出勤体系等の変化の影響もあると考えられる。 当初計画のうち、整備が進捗していない箇所があるためと考えられる。
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	平松深良線周辺の並行する市道等における交通事故件数が減少した。		
3. 特記事項（今後の方針等）			
<ul style="list-style-type: none"> 供用開始された箇所は、幅員が広く快適な交通空間が提供されているため、引き続き計画路線の整備を進め、新たな道路ネットワークを構築し、交通の分散を図る。 生活道路への迂回進入を減少させ、地域の交通安全面での向上を図る。 地元の早期整備要望もあるため、都市計画道路整備プログラムの短期整備路線へ予算を重点的に配分する。 早期に整備効果が期待される計画的な道路ネットワークを構築する。 			